

# 令和6年度 第1回 滋賀県渋滞対策協議会

地域WGの開催

令和6年8月26日(月)

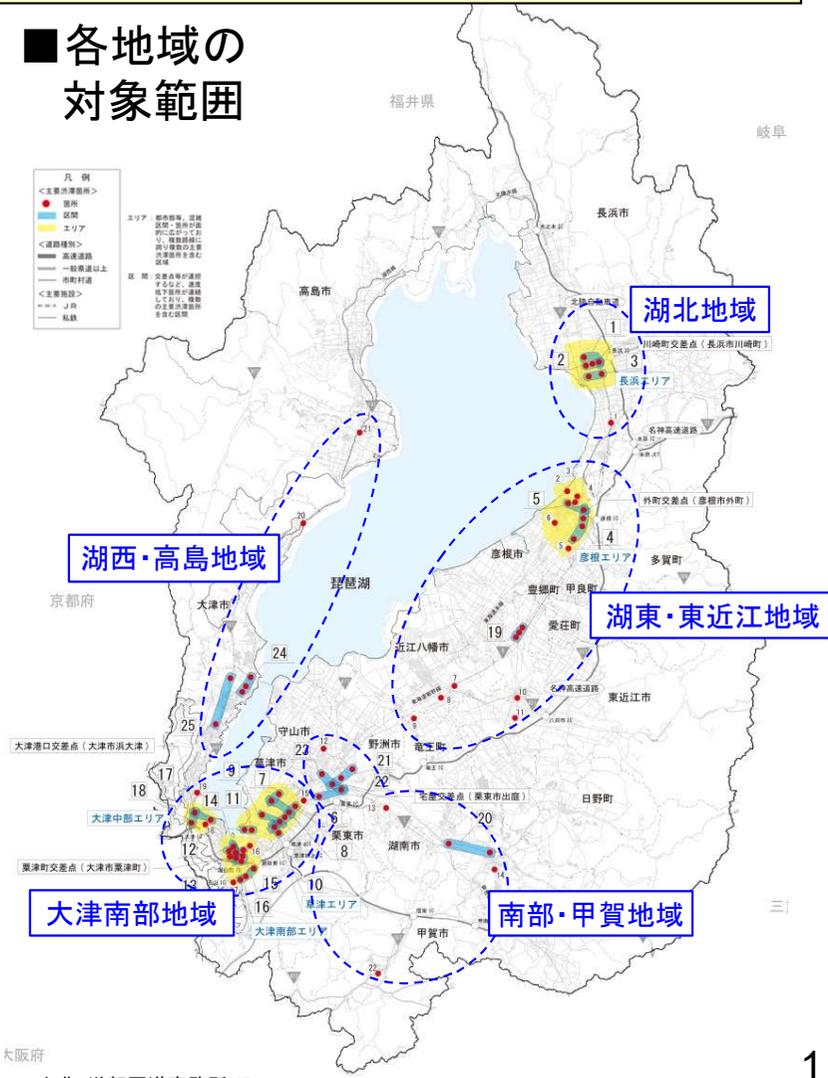
# 1. 地域ワーキンググループ(WG)について

- 各地域の交通状況にフォーカスすることで効果的な対策の立案に繋げることを目的として、地域WGを開催。
- 令和5年度は、滋賀県の中心部であり主要渋滞箇所が多く残存しているなど対策必要性の高い大津南部地域で地域WGを開催した。
- 前回の渋滞協(令和6年3月)では、南部甲賀エリアの一部において令和3年度全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査結果にて混雑度が2を上回る程混雑状況の著しい区間もあることを踏まえ、今年度地域WGを新たに立ち上げ、対策の具体化を検討していくことが了承された。

## ■地域WG開催概要・全体スケジュール

地域	概要	R5	R6	R7	R8
大津南部地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県内で主要渋滞箇所及び対策検討中箇所が最も多く対策必要性が高いため、<b>令和5年度にWGを開催。令和6年度も引き続き開催予定。</b></li> <li>・南草津駅のロータリーの改修などについては、草津地域検討ワーキンググループで検討中。</li> </ul>				
南部・甲賀地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果において、混雑度が2.13と管内の他路線に比べて高い値を示している区間もあることから、<b>令和6年度に設置。</b></li> </ul>	準備			
湖西・高島地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖北バイパスの整備及び湖西道路の整備、小松拡幅の整備の進捗を踏まえて、必要に応じてワーキンググループの設置を想定。</li> </ul>	必要に応じて設置を検討			
湖東・東近江地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津南部地域に次いで主要渋滞箇所が多い。大津南部や南部・甲賀地域での検討状況を踏まえつつワーキンググループを再開することを想定。</li> <li>・彦根市のパーク&amp;ライドについては、彦根地域検討ワーキンググループで検討中。</li> </ul>	必要に応じて設置を検討			
湖北地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩津バイパスの現道拡幅や米原バイパスの整理等の進捗を踏まえて、必要に応じてワーキンググループの設置を想定。</li> </ul>	必要に応じて設置を検討			

## ■各地域の対象範囲



## 2. 今年度の実施予定

- 今年度は、過年度実施した大津南部地域WGのさらなる対策の具体化と、新たに設置する南部甲賀地域WGでの課題共有・対策検討を目的とし、以下のとおりで開催を検討。
- 南部甲賀地域の第1回地域WGは7月18日に開催済みであり、開催結果概要について次頁で紹介する。

### 令和6年度の地域WG開催概要

開催地域	開催回数	開催目的	協議内容(想定)	
大津南部地域	1回	① 県または市が道路管理者となっている箇所を中心に交通状況の確認及び対策の方向性について検討	第1回 (R6.11予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和5年度第1回WG(R5.11.28)での指摘対応状況の共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度第1回WGで指摘や要望等への対応状況を一覧として共有</li> </ul> </li> <li>② 追加分析の実施(瀬田川渡河部の交通流動分析) <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度第1回WGで要望のあった瀬田川渡河部の交通流動分析を実施した結果を共有</li> </ul> </li> <li>③ 対策検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加分析を踏まえた対策内容(ピンポイント対策、TDM施策等)について検討した結果について協議(対象箇所は鳥居川、唐橋西詰、神領、新浜町西、新浜町交差点)</li> </ul> </li> </ul>
南部・甲賀地域	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 栗東水口道路Ⅱ周辺の交通状況の把握と共有及び課題の抽出</li> <li>② 栗東水口道路Ⅱにおける整備優先区間及び短期対策(ソフト施策)の検討</li> <li>③ 検討状況を踏まえ、新たな主要渋滞箇所への位置付けを検討</li> </ul>	第1回 (R6.7実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 交通特性や渋滞状況の共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の交通特性や渋滞状況などについて、ETC2.0プローブデータや交通量調査結果を用いて関係機関での共有を図り、課題の抽出する</li> </ul> </li> <li>② 対策の方向性の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体での解消に向けた取組みとして、時間のかかるハード整備だけではなく、効果的なソフト施策を検討</li> <li>・栗東水口道路Ⅱの整備に向けた課題を整理し、整備優先区間を検討</li> <li>・H25選定時から交通状況に変化のある箇所を、新たな主要渋滞箇所案への位置付けにより合意形成を図り対策をすることを検討</li> </ul> </li> <li>③ 役割分担 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対策の具体化に向けて、関係機関が実施する取組みを協議</li> </ul> </li> </ul>
			第2回 (R7.1予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和6年度第1回WGでの指摘対応状況の共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度第1回WGで指摘や要望等について、対応状況を一覧として共有</li> </ul> </li> <li>② 対策の具体化検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度第1回WGの結果を踏まえて対策の具体化を検討した結果を示し、内容について協議(栗東水口道路ⅡにおけるTDM施策、主要渋滞箇所におけるピンポイント対策等)</li> <li>・令和6年度第2回渋滞協にて主要渋滞箇所の見直し箇所案を検討</li> </ul> </li> </ul>

### 3. 南部甲賀地域WGの開催結果

- 令和6年度第1回南部甲賀地域WGでは、主に栗東水口道路Ⅱ周辺について、現地確認結果やETC2.0プローブ分析、交通量・渋滞長調査結果を踏まえ、渋滞対策方針等について協議を行った。
- 結果、短期対策として、湖南工業団地の企業を対象としたTDM施策(時差出勤)の実施に向けた調整を開始することとした。また、中長対策としては山手幹線等の開通後における周辺の交通状況、湖南市のまちづくり計画などの状況も踏まえて検討し、課題の多い箇所を優先的に整備することについて議論を行った。

#### ■ 令和6年度第1回南部甲賀地域WGの開催結果概要

開催日時	令和6年7月18日(木)14:00~16:00	開催の様子 
開催場所	滋賀国道事務所 3F 大会議室	
議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 南部甲賀地域WGの開催趣旨・位置づけについて</li> <li>(2) 栗東水口道路における対策検討について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 栗東水口道路周辺の交通状況・課題について</li> <li>② 対策検討について</li> </ul> </li> <li>(3) 石部口交差点(主要渋滞箇所)の対策検討について</li> <li>(4) 今後の予定</li> </ul>	
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 滋賀国道事務所</li> <li>○ 滋賀県土木交通部道路整備課</li> <li>○ 滋賀県土木交通部道路保全課</li> <li>○ 滋賀県土木交通部甲賀土木事務所</li> <li>○ 湖南市</li> <li>○ 甲賀市</li> </ul>	
議事要旨	<p>本WGの検討対象とする南部甲賀地域の栗東水口道路Ⅱ周辺の交通状況・対策案等について情報共有や協議を行った。主な内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 短期的な渋滞対策として、<b>湖南工業団地の企業を対象としTDM施策(時差出勤)を実施</b>することとした。TDMの実施に向けては、滋賀国道事務所、湖南市が具体的なヒアリング内容や実施方法について、引き続き協議を行うこととした。中長期的には<b>山手幹線等周辺道路の供用後における交通状況等、課題の整理と湖南市まちづくりの状況を踏まえて4車線化に向けた優先区間の検討</b>を行うこととした。</li> <li>• 湖南工業団地以北にある竜王町のダイハツ工業の工場と思われるエリアへの着地が見られる。昨年度、工場の稼働停止期間には周辺の混雑が緩和したとの意見が地元から挙がっていたことから、交通状況をETC2.0データで確認することとなった。</li> <li>• 南部甲賀地域内の主要渋滞箇所である石部口交差点については、速度が低下している流入3,4を中心として、引き続きピンポイント対策を検討することとした。</li> <li>• 次回の南部甲賀地域ワーキングは令和7年1月下旬~2月上旬を予定し、栗東水口道路Ⅱの整備優先区間や湖南工業団地へのヒアリング結果を踏まえたTDM施策について、協議を行うこととした。</li> </ul>	